

#### (4) ①様式第4号-2 (報告書)

※文字の大きさは Meiryo UI /12ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。

※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。

※必ずA3片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

NITS カフェ報告書	実施機関名・連携機関名 宮城教育大学教職大学院・宮城県教育委員会
※ 機構記入欄 No. : -	セミナー名 : 【NITS カフェ in miyakyo】 インクルーシブな学校づくりとは? ~「みんなの学校」を手がかりとして

**テーマ :** ※課題やテーマをどのように設定しましたか? 視点などを含めて記載してください。

映画「みんなの学校」(大阪市住吉区・大空小学校)を視聴し、いじめ防止を含みつつ、全ての子どもが包接されるインクルーシブな学級・学校経営の在り方について、グループに分かれ、協議する。キャリア段階が異なる者でグループを編成し、p4c(子どものための哲学)による対話を用いながら、教職員全員および地域社会も巻き込みながら作る「みんなの学校」について考える。

**内容 :** ※全体発表の内容をテーブル起こしするなど、具体的に記載してください。カフェの様子は、写真を右に貼り付けてください。

NITSカフェ in miyakyo  
インクルーシブな学校づくりとは? ~  
「みんなの学校」を手がかりとして  
平成30年10月27日(土)9時30分~12時 220号教室

「みんなの学校」(大阪市住吉区大空小学校)を視聴し、いじめ防止を含みつつ、全ての子どもが包接されるインクルーシブな学級・学校経営の在り方について、グループに分かれ、協議します

【対象 学部生 教職大学院生 一般教員】  
【進行】  
開会挨拶  
「みんなの学校」視聴  
p4cによる話し合い  
まとめ



p4c(子どものための哲学)を用いた話し合い

- ・コミュニケーションのための手作りボール
- ・問いをともに考えることがよりよい生き方を導く
- ・否定をしない
- ・ボールをもった人が発言できる
- ・発言の機会は平等に
- ・なぜ、どのように、どうしたら、といった疑問形から、より深い問いへ

**成果 :** ※参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

映画視聴には、約150名が参加した。その後、現職教員と教職志望の学生が意見交換を行い、結果として参加者の教職観に変容を促す協議内容を導くことができた。(次頁に参加者の感想例を記載)

**アイデアや工夫したこと :** ※3~5つ程度の箇条書きしてください。

- ・異なるキャリアステージにある、現職教員と教職を目指す学生が協議を行うようにしたこと
- ・p4cを用いて、意見交換をしやすい場にしたこと

## ・共通の映像情報を基に、討議を深めるようにしたこと

<写真・図など> ※会場の熱気や規模がわかる写真、参加者の表情がわかる写真（寄って撮影またはトリミング）を撮影してください。

さい。



今日の講演会は、とても充実した時間でした。

特に今日拝見した映画は校長先生の素晴らしい働きかけがあるとともに、教員全員で問題に対応している姿があり、まさに学校のあるべき姿であるように思いました。クラスで起こったけんかや生徒の問題行動を決して担任だけの対応に任せるのではなく、校長先生が生徒の話を聞いたり、担任以外の先生も対応していたこと、度々映し出される学校の雰囲気がとてもよかったことから、校長先生が言っている「学校は自分で作るもの」という言葉を教師全員が実行しているのだと思いました。生徒が暴力をふるったり、逃げ回ったりする子をすぐに受け入れる場面がありましたが、それは当日に起こった問題をすぐに解決して先延ばししないこと、その問題を同じクラスの生徒全員と共有したり、意見を求めていたりしていたからだと思います。

決して平凡とは言えないような場面をたくさん見ましたが、だからこそ最後の卒業式で立派にお辞儀をしている子どもたちの姿を見ると、胸が熱くなる思いがあり、少し泣きそうになってしまいました。今日この映画を見たことは間違いなく自分にとってプラスになったと思います。

また、実際に教員の方々とお話をする機会がありましたが、その時には映画は理想的ではあるものの人員不足で現実には難しいということなどといった実際の現場のお話を聞くことができました。滅多にない機会だったので、今回参加して本当に良かったと思いました。



○ 現職の先生（仙台育英学園 加藤 聖一先生）とのグループ討論を通して

加藤先生は、視聴した映画の細かな部分までご覧になっており、やはり現職の先生は違うなと率直に感じた。

また、物事を進める際に、どのような目的で行うのか、次にどのような目標を掲げるのか、その次にどのようにすれば目標を達成できるかを考えることが大切だという言葉をいただき、勉強やサークル活動など現在の大学生活でも活かせる有難いお言葉だと感じた。

その他にも、実際の現場の状況や他の先生との関わり方など、普段は聞くことができないような貴重なお話を頂けた。

このような貴重な経験をさせていただき、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



映画を見て、まず思ったのは、校長先生が、あそこまで深く子どもと関わっているのが非常に珍しいと思いました。私の中での校長先生のイメージは、ずっと校長室にいて仕事をしているものだったのですが、あの映画のように、学校の長である先生が先導を切って子供と触れ合っているのは本当に素晴らしいと思いました。また、自分が先生になった時に、あのように親身になって子供と接したいとは思ってたけど、それと同時に、自分に出来るのかという不安が大きく浮かび上がりました。この不安を少しでも解消するために、大学での勉強も、その他の体験も、精進していきたいと思います。貴重な映像を見せて頂きありがとうございました。



DVDを見た中で真っ先に浮かんだ感想としては、「もし自分が教員になったら、大空小学校の先生方のような、どんな子供にも対応できるような柔軟性を持って行動できるだろうか」ということでした。そして、大空小学校があのように成功できたのは、先生方の精力的な実践のおかげだけではなく、児童たちの無意識の協力和地域の方々との密接な関係など、様々な要素が折り重なって生まれた結果なのではないかとも感じました。

また、この考えは、DVD視聴後に意見交換をさせて頂いた現職の先生とも交流させていただきました。先生には私たちのこういった考えや感想を温かく受け入れていただき、更に実際に先生が経験されたことなども多くお聞きすることができました。DVDを視聴して様々な学びを得るだけでなく、現職の先生方と交流させていただくこともできた経験は非常に貴重なものとなりました。

